別記第5号様式

被害防止計画目標評価報告書

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	岩国市
実施期間	R2. 4. 1～R5. 3. 31

2. 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年 (年度) の実績値 (A)	目標値 (B)	目標年 (年度) の実績値 (C)	達成率(%) $A - C / A - B$	備考
被害面積	20.18ha	17.56ha	6.29ha	530.1%	豚熱感染によるイノシシの生息数減少が大きく影響している。
被害金額	31,078 千円	26,544 千円	9,584 千円	474.0%	豚熱感染によるイノシシの生息数減少が大きく影響している。

3. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果
R3 鳥獣被害防止施設	電気柵 501m 198,485 円	同上	R3. 10. 11	加害獣（イノシシ）の侵入を防止出来ており、被害の減少に貢献している。
	WM柵 430m 450,160 円		R3. 10. 21	
R4 鳥獣被害防止施設	WM柵 910m 1,162,410 円	同上	R5. 3. 14	同上
	WM柵 385m 588,201 円		R5. 2. 28	
R3 被害防止活動推進	イノシシ捕獲檻 22 基 1,728,100 円	同上	R4. 3. 11	加害獣の捕獲により、被害の減少に貢献している。
	ヌートリア捕獲檻 9 個 49,074 円		R3. 2. 22	
R4 被害防止活動推進	イノシシ捕獲檻 9 基 720,720 円	同上	R4. 10. 18	同上
	ヌートリア捕獲檻 14 個 129,360 円		R4. 9. 14	

R2 緊急捕獲活動	捕獲頭数 1,117 頭 5,618,600 円	同上	R2.4.1	捕獲隊員の捕獲意欲が向上し、被害の減少に貢献している。
R3 緊急捕獲活動	捕獲頭数 1,244 頭 6,373,400 円	同上	R3.4.1	同上
R4 緊急捕獲活動	捕獲頭数 471 頭 2,341,600 円	同上	R4.4.1	捕獲頭数の減少は、豚熱感染によるイノシシの生息数減少が影響しているものの、事業自体は捕獲隊員の捕獲意欲が向上し、被害の減少に貢献している。

4. 総合評価

本市の鳥獣被害の多くを占めるイノシシ被害については、侵入防止施設の設置や捕獲檻の導入を大幅に進めたことで、被害防止対策が大きく進展した。

加えて、令和4年3月、本市で豚熱が発生したことにより、イノシシの生息数が大きく減少したことから、イノシシによる被害面積と被害金額は大幅に減少した。

また、サルによる被害も減少したことで、被害防止計画目標における被害面積・被害金額は共に目標を大きく達成出来た。

しかしながら、全体的な被害面積・被害金額は減少したものの、市内において、ヌートリアの生息域が拡大し、被害面積、被害金額とも増加していること、耕作放棄地などの拡大による鳥獣の生息域の拡大により、鳥獣の生息数の増加圧力は強まってきていることからしても、今後も県などの関係機関や猟友会などの関係団体と連携して、鳥獣被害防止対策の普及啓発や生息地管理、防除、捕獲といった取り組みを継続させ、自助、共助、公助による被害防止対策を進展させていく必要がある。

5. 第三者の意見

山口県農林総合技術センター 松本研究員

岩国市においては、被害額および被害面積ともに削減目標を大きく上回る実績であり、侵入防止柵の設置および捕獲檻の導入効果が認められます。

イノシシについては、緊急捕獲活動により3年間で2,452頭を捕獲しており、協議会における捕獲隊員との連携が評価できます。また、令和4年度に捕獲数が減少していることから豚熱感染によるイノシシの生息数の減少も被害額の減少につながっていると推測されます。

サルについては、捕獲数は目標値を下回ったものの被害額が減少していることから、加害個体の除去ができていくことが評価できます。

ヌートリアについては、繁殖力が高いことから生息域の拡大が懸念されます。

今後は、サルおよびヌートリについては、被害地域を主体とした地域ぐるみでの被害管理、生息地管理、個体数管理に総合的に取り組みにより、生息地の環境整備を進めていくことが必要と考えます。

- (注) 1 被害防止計画目標の達成状況が低調である場合は、改善計画を作成し、知事に提出すること。
- 2 3の事業効果には、別添様式を参考に事業の実施により発現した効果を幅広く定量的に記入すること。なお、処理加工施設や捕獲技術高度化施設を整備した場合は、当該施設の利用率も記入すること。
- 3 4の総合評価のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由も記入すること。
- 4 鳥獣被害防止施設の整備を行った場合には、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況並びに侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。